

林業福島

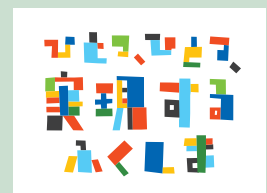
No. 707

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



7

2023



監修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 御柱祭 !!



森林・林業の復興・創生に向けて

福島県森林組合連合会
代表理事会長 田子英司

皆様には、日頃より、当連合会の業務運営に格別のご高配を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故から、十二年が経過しました。この間、本県の復興・創生に向けた取組は着実に進展しておりますが、森林・林業を取り巻く環境は、いまだ放射性物質の影響を受け続け、森林整備面積が震災前の五割程度の水準で推移するなど、厳しい状況にあります。

このような中、森林の公益的機能を確保するため、「ふくしま森林再生事業」による間伐等の森林整備とその実施に必要な放射性物質対策の一体的な実施、しいたけ原木林の再生プランに基づく「広葉樹林再生事業」等に官民一体となって取り組んでいるところです。

これら事業は、本県の森林・林業を再生する上で、効果的かつ欠くことのできないものであり、第二期復興・創生期間後においても中長期的な財源を確保するよう、引き続き国・県に働きかけていく必要があると考えております。

一方、県内の森林資源は年々充実し、伐って、使って、植えて、育てる、循環利用の推進が求められております。これに加え、国連が定めたSDGsの理念が浸透するとともに、脱炭素社会の実現に向けてカーボンニュートラルが表明されるなど、国民の環境意識が高まりを見せております。また、先のウッドショックや、長引くロシア情勢など、輸入材に頼ることのリスクが顕在化し、国産材の利活用が目が向けられるなど、森林・林業への追い風が吹いており、この機を逃すことなく、川上・川中・川下が一体となって国産材の安定供給体制を構築することが重要と考えております。

また、令和元年度からは、森林環境譲与税が県及び市町村に譲与され、これを財源とする新たな森林経営管理制度の取組が開始されておりますが、令和六年度からの森林環境税の課税を控え、森林環境譲与税を活用した森林整備の成果を目に見える形で確実に示していくことが求められます。

原発事故の影響が今なお色濃く残ることに加え、森林・林業を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、森林組合系統の果たすべき役割は大きく、当連合会といたしましても、県内各森林組合との連携を密に、本県の森林・林業の復興・創生に向け全力で取り組んでまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

《も く じ》

とびら	第51回全国林業後継者大会及び第73回全国植樹祭について……………6
森林・林業の復興・創生に向けて	林業アカデミーふくしま研修日誌②……………7
福島県森林組合連合会	普及指導員通信……………8
代表理事会長 田子英司……………1	森連だより……………9
令和5年度通常総会を4年ぶりに通常開催 ……2	木連だより……………10
県政コーナー	木の文化を育む⑤……………11
林業就労環境改善について……………3～4	木材市況・ふくしま東西南北……………12
「第6回ふくしま植樹祭inみなみあいづ」	はなしのひろば・お知らせコーナー……………13
参加者募集!!……………5	

令和五年度通常総会を四年ぶりに通常開催

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

令和五年六月九日(金)、福島市ウエディングエルティにおいて、当協会の令和五年度通常総会が約一〇名の出席により盛大に開催されました。

今回の通常総会は、令和元年度以来四年ぶりに会員の皆様に出席いただく通常形式で開催し、令和四年度事業報告及び収支決算、役員の一部改選等四議案について承認をいただきました。

同時に、令和五年度事業計画及び収支予算について報告いたしました。(詳細は協会のホームページで公開しておりますので、是非ご覧ください。)

新たに五名の方が以下のとおり理事に選任され、引き続き開催された臨時役員会において、宮田秀利理事が副会長に選任されました。

理事 沖野 浩之

(福島県農林水産部長)

理事 宮田 秀利

(福島県町村会会長)

理事 上原 和直

(福島県農林種苗農業協同組合代表理事組合長)

理事 相良 政博

(福島県造園建設業協会会長)

理事 高橋 和也

(全国農業協同組合連合会福島県本部園芸部長)

また、総会の席上、令和四年度施工の優良森林土木工事、優秀工事監督者、緑化功

労者、ふくしま森づくり大賞の表彰も併せて行いました。

当協会は、県土の保全、地域の安全・安心を確保するために日々研鑽を積んでいる事業者の方々の功績を広く県民



あいさつする小松山善継会長



ふくしま森づくり大賞 玉川村桜愛好会様



4年ぶりに通常形式で開催

にお知らせするとともに、県民の森づくり活動への参加意識の高揚を図り、多様な主体による森づくり活動を促進するため、今後も表彰事業を続けてまいります。

1 優良森林土木工事受賞者

(1) 治山事業の部

推薦協会	工事名(地区名)	工事施工者
県北	復旧治山(曲藤地区)	株本多組
県中	復旧治山(穴尾地区)	株関組
県南	治山施設(中折戸地区)	株田村組
会津	治山施設(小杉山地区)	株海老名建設
相馬	治山施設(南川原地区)	豊川建設株
双葉	防災林造成(双葉地区)	田中・栗林特定建設工事共同企業体
いわき	治山施設(戸沢地区)	株山一緑化土木

(2) 林道事業の部

推薦協会	工事名(路線名)	工事施工者
県中	林業専用道(水ノ木羽山線)	矢部工業株
県南	森林管理道(楽翁溪松宇線)	株菊池組
会津	山のみち地域づくり交付金(北塩原・磐梯(北塩原)線)	株高橋建設
南会津	山のみち地域づくり交付金(田島・館岩I線)	南総建株
相馬	林道施設災害復旧(大沢北線2号箇所)	株千田建設

2 優秀工事監督者受賞者

推薦協会	所属事業所	氏名
県北	株本多組	本多 幸吉
県中	矢部工業株	郡司 徳文
県南	株田村組	佐々木昌恒
会津	株菊池組	藤田 俊美
南会津	株海老名建設	大竹 弘樹
会津	南総建株	桑原 大樹
相馬	豊川建設株	山田 良信
相馬	株千田建設	横山 毅
双葉	栗林建設株	末廣 讓司
いわき	株山一緑化土木	阿部 陽一

3 緑化功労者受賞者

市町村名	氏名
川俣町	藤原美貴雄

4 ふくしま森づくり大賞

表彰部門	市町村名	受賞者名
森づくり活動部門	玉川村	玉川村桜愛好会
森林文化振興部門		該当なし

林業就労環境改善について

福島県森林計画課

福島県の森林は、スギやヒノキなどの人工林の半数以上が植栽から五〇年以上が経過し、伐採の時期を迎えています。

この豊かな森林資源を適切に管理し、資源の循環利用を進めていくことは、林業の振興はもとより、地域の活性化、森林の多面的機能の発揮にとっても大切で、これらを支える林業人材の確保が大きな課題となっています。

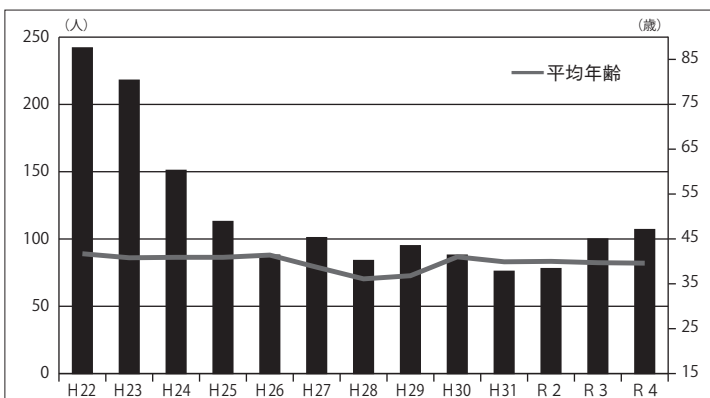
一方、県内の林業就業者数は、国勢調査によると令和二年が二、一九二人と平成二二年の二、一八一人と比較すると横ばいとなっていますが、年齢割合では六五歳以上の割合が増加しています。

また、震災前までは年間二〇〇人を超えていた新規林業就業者数は、近年回復傾向が見られるものの令和四年については一〇七名にとどまっています。

就業後の定着率についても、三年

後の定着率が約五割にとどまっています。

福島県の新規林業就業者数の推移



このような現状から、林業の人材確保に向けては、新規就業者数の増加とともに、定着に向けた取組が重要となっています。

事例1

GNSS測量システム (デジタルコンパス測量機器)



GPS等の衛星測位システムとレーザー距離計を組み合わせた測量システム。斜距離の実測や手書きでのデータ集計が不要となる。

○導入の効果

PDA(携帯端末)により、取得したデータを現地で確認できます。斜距離の実測や手書きでのデータ集計が不要のため、人為ミスの軽減、作業効率の向上に繋がっています。

(福島県北森林組合)

事例2

ファン付き防護ズボン

バッテリーで稼働する小型ファンを内蔵した防護ズボン。

体の表面に風を送ることで、汗が蒸発し、涼しさが感じられる。



○導入の効果

就労環境の改善につながり、熱中症予防、また作業効率も上がり社員にも好評です。

(株式会社出田創業)

事例3

ヘルメット用インカム



ヘルメットに装着する通信機器。インカムを付けた者の間で、機器を手を持つことなく、会話できる。

○導入の効果

ワイヤー集材では、少人数で作業できるようになり、かつ細かく指示ができるようになりました。その他の作業でも、大声を出さなくてもインカムで意思疎通できるようになり、効率が良くなりました。

(株式会社山空林業)

福島県では、就労環境の改善のため、次のような事業を行っていますので紹介します。

1 林業就労環境整備支援事業

- ・内容…林業就業者の定着を図るため、就労環境の改善を支援する
- ・補助対象…認定林業事業体、意欲と能力のある林業経営者
- ・対象となる経費…林業用品の改善・導入による就労環境改善に要する経費、森林内での作業の就労環境改善に要する経費、酷暑酷暑下での作業の就労環境改善に要する経費

- ・補助率…導入する物品一つあたりにつき二分の一以内（ただし、上限五万円とする）
- ・導入事例…ヒーティングハンドルチェーンソー、ヘルメット用インカム、ファン付きウェアなど

2 林業デジタル技術導入支援事業

- ・内容…林業就業者の定着を図るため、デジタル技術の導入の取組を支援する
- ・補助対象…認定林業事業体、意欲と能力のある林業経営者
- ・対象となる経費…各種物品等の購入に要する経費、その他知事が必要と認めるもの

- ・補助率…導入する物品一つあたりにつき二分の一以内（ただし、上限一〇〇万円とする）
- ・導入事例…デジタルコンパスGNSS測量セット、ドローン、現場用タブレットなど

1と2のお問い合わせ先は、

福島県森林計画課
福島市杉妻町二一六
電話…〇二四―五二一―七四二六

3 木こりの安全確保推進事業

- ・内容…林業就業者の定着を図るため、労働安全を確保する取組を支援する
- ・補助対象…認定林業事業体、意欲と能力のある林業経営者、林材業

- ・導入事例…ヘルメット、防護ズボン、防振手袋、かかり木処理具など
- ・補助率…二分の一以内（ただし、林材業労災防止協会が定める範囲内とする）
- ・導入事例…ヘルメット、防護ズボン、防振手袋、かかり木処理具など

- ・補助率…二分の一以内（ただし、林材業労災防止協会が定める範囲内とする）
- ・導入事例…ヘルメット、防護ズボン、防振手袋、かかり木処理具など

3のお問い合わせ先は、

林材業労災防止協会福島県支部
福島市中町五一八
（福島県林業会館内）
電話…〇二四―五二三―三三〇七

ふくしまの森林で働こう！ ～林業に就業したい方へ～

1 就職を希望するなら

- ① 林業オンライン相談
いつでも気軽に相談できる専用サイト
「緑の雇用 RINGYOU.NET」

森林の仕事ミニガイドランス（福島県林業祭会場にて実施）に参加前に目を通すと役立つ資料もございますのでぜひご覧ください。

- ② 森林の仕事ガイドランス

森林の仕事に関するあなたの「知りたい」「聞きたい」「相談したい」に親切・丁寧にお応えするガイドランス。福島県内の複数の林業事業体との個別面談を行います。開催に関する詳細は下記にお問い合わせください。

- ③ 林業就業支援講習

林業への就業を希望する方に実地講習・資格取得等の講習を行います。

お問い合わせ：公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 福島県林業労働力確保センター

〒960-8043 福島市中町5-18（福島県林業会館内） TEL 024-521-3270



<https://www.ringyou.net/online/>

2 林業について学んでから就職を考えるなら

林業アカデミーふくしま

「林業アカデミーふくしま」は、福島県の林業の未来を担う新たな人材を育成するための研修のことで、研修施設にて充実した教師陣による林業に関する基礎から専門技術まで、幅広く学べる講義や実習を行っているほか、研修期間中に林業に必要なチェーンソーや林業機械の操作などの各種資格も取得できます。

お問い合わせ：福島県林業研究センター企画研修部

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂1番地 TEL 024-945-5974



「第6回ふくしま植樹祭 in みなみあいづ」参加者募集!!!

ふくしま植樹祭実行委員会

昨年9月に「恩賜林」(矢吹町)で開催しました第5回ふくしま植樹祭は良い天気恵まれ、県内外から約500名の参加者にお越しいただきました。未来を担う子どもたちに美しい森と田園風景に囲まれたふるさとを継承するため、広葉樹の植樹・育樹活動を行いました。

今年も、ふくしまの美しい緑と心が、未来も豊かであり続けるよう、「美しいふるさとを継承する 森林と人との絆の森林づくり」を開催目的に9月3日(日)に南会津郡南会津町「会津山村道場」で植樹祭を開催いたします。

当日は、「森林づくりを続ける、広げる、繋げる」をテーマとし、時代を超えて希望と喜びを繋ぐ森林づくりを行うため、ブナ、カエデ、ヤマザクラなどの植樹活動や私たちが活用する生活圏と野生鳥獣の生息域の間に見通しの良いエリア(緩衝帯)を整備する育樹活動を行います。また、丸太切り、薪割り、南会津の木を使用した遊びなどの参加型体験プログラムを用意しております。

また、2023年度ミス日本みどりの大使の上村さや香さんと福島県出身で2017年度ミス日本みどりの女神の野中葵さんも、皆様と一緒に活動に参加されます。

植樹祭は継続して行っていくことが大切です。どうぞ、奮って参加されますようお願い申し上げます。



〈申し込み方法〉

●WEBからの申し込み

第6回ふくしま植樹祭ホームページから申し込みいただけます。

第6回ふくしま植樹祭 検索



●ファックスからの申し込み

第6回ふくしま植樹祭チラシ裏面の参加申込書に必要事項記入のうえ、FAX 024-952-8144に送信願います。

問い合わせ先

ふくしま植樹祭実行委員会事務局
TEL 024-952-1515
(土日・祝日を除く10:00-17:00)

第五一回全国林業後継者大会及び 第七三回全国植樹祭について

福島県森林計画課

○第五一回全国林業後継者大会

令和五年六月三日(土)、岩手県盛岡市盛岡市民文化ホールにおいて、「つなげよう 豊かな森林(もり)を 次世代へ」をテーマに第五一回全国林業後継者大会が開催されました。

オープニングでミスさんさ踊りによるしなやかな踊りが披露された後、岩手県内の林業事業体と岩手県林業技術センターからの活動発表、岩手大学の山本信次教授をコーディネーターに迎えたパネルディスカッションが行われました。

林業事業体の活動発表では、木質バイオマス燃料の販売収入を原資とする独自基金を活用した森林整備の取組や、地域の子供たちを対象とした林業機械操作体験、地域と森の接点をつくる交流施設の運営などについて、岩手県林業技術センターからはいわて林業アカデミーの人材育成について発表がありました。

パネルディスカッションでは、「次



記念式典の様子(全国林業後継者大会)

代を担う若者が意欲と希望をもって活躍できる魅力ある林業の確立に向けて」をテーマに、若者が意欲と希望をもって働くには、まず収益を得る仕組みが大切であるという論点から、ICT利用や個人の技能向上による木材生産性の向上や、地域の様々な主体と連携し新たな社会的意義や価値を生み出す取組と考え方等について活発に意見が交わされました。閉会式典では、いわて林業アカデ

ミー修了生による大会宣言が行われ、次期開催県である岡山県の実行委員会会長からあいさつがありました。

○第七三回全国植樹祭

六月四日(日)には、岩手県陸前高田市高田松原津波復興祈念公園で第七三回全国植樹祭が「緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から」を大会テーマに開催されました。

東日本大震災の津波の際、七万本の松のうち「奇跡の一本松」が残ったこの場所で、林業の持続的で健全な発展とともに、震災の教訓とそこからの復興の姿を高田松原の再生などと重ね合わせ、力強く取り組んでいくことが基本方針として掲げられています。

天皇・皇后両陛下がご臨席なさる「お野立所」の基壇は、県産木材を使用した柔らかな質感で仕上げられており、「あたたかな県民性」を大いにアピールしていただきました。

また、海から陸に伸びる屋根のラインは、岩手県の宝である森・川・海のつな



参加者の記念植樹の様子



第73回全国植樹祭式典

がりと、力強く未来へ向かう岩手県民を表現していました。式典の中心とも言える植樹行事では、天皇陛下が南部アカマツとカシワ、タブノキをお手植えなされ、皇后陛下がベニヤマボウシ、ハナヒヨウタンボク、ミチノクナシをお手植えなされました。続いて、天皇陛下がオオヤマザクラとケヤキ、皇后陛下がヤブツバキとハマネスのお手播きをなされました。式典の最後に、昨年度滋賀県から岩手県が引き継いだ木製地球儀が、次期開催県である岡山県へ手渡され、令和六年度は岡山県において第七四回全国植樹祭が開催される予定です。

林業アカデミーふくしま研修日誌②

福島県林業研究センター

第二期生が入講してから二ヶ月が経ちました。五月の研修は座学と実習が組み合わさっており、学んだことを現地で確認し理解を深める機会の多い一ヶ月でした。

○五月の研修内容

「救命訓練」の講義では、救急員養成講習を受講し、三角巾による止血法や患部の固定法などを何度も繰り返し練習しました。筆記と実技の試験では、全員が無事合格することができました。

「立木調査」の講義では、樹高や胸高直径を測定し、それを集計するための方法を学びました。森林の現状を知ることは、今後必要な施業内容など、施業を実施するための具体的な計画を立てるために不可欠です。

「安全の基礎」等の講義では、キックバック装置や枝落下装置を用いて事故を擬似的に体験することで、安全な行動や装備を身につけることの重要性を再確認しました。

また、木材関係の講義として、「木

材流通概論」「原木市場」「木材加工

」「木造建築」「木質バイオマス利用

」の講義を一週間かけて受講しました。

流通の仕組みや木材の構造や特性、

部材への活用、バイオマス発電の

原理やチップの利用など、座学はも

ちろん、原木市場や集成材工場、木

造建築物、チップ工場、バイオマス

発電所等の見学を通して学びまし

た。研修生たちは、座学で学んだ内

容を現地見学で活かすことで、より

講義内容への理解を深めていました。

○研修生の感想 鈴木瑞樹さん

五月はチェーンソー伐木造材技術や安全の基礎など、様々なことを学びました。その中でも一番印象に残ったのは、森林保護の講義で、マツ枯れがマツノマダラカミキリによってマツノサイセンチュウが運び込まれることが原因だったことです。アカデミーの講義は座学だけでなく、見学や体験をする事で知識が広がり、学ぶ事が楽しいです。充実した日々の中で知識や技術を習得

し、六月からは資格取得に向けて一杯頑張っていきたいと思います。

○研修生の感想 武藤 唯さん

一つ一つの学びが線で繋がるように講義が進み、私がかれまで感じてきたことは間違いでなかったと再確認できる日々を送っています。

五月は川上の林業だけでなく、原木市場や製材所、集成材工場で木を使って働く方々の話を聞くことができました。魅力的だと感じたことは、それぞれに木に対する考えや思いがあり、それを形にしていることです。

このように、二次情報とリアルを同時に学べるカリキュラムは、林業がとてくりエイティブであることを教えてくれます。

木を伐ることで生態系にどう影響を及ぼすかを想像すること。害虫や獣が森林に及ぼす影響を想像すること。その森が一〇

〇年後どのような変化しているかを想像すること。このように、「森」としての木の役割を想像することで、林業が持続的な森林を守るため

に必要な不可欠な産業であると認識することが出来ます。

また、「材」として切り出す木は、生きていくための産業として大切な役割を持ちます。

木の細胞壁まで知ることによって成長し、いい木になってくれるかを想像すること。どのように伐木したら歩留まりがいいか想像すること。切った木がどこで売られ何の商品になり、どのような考えの人が使うかを想像すること。

木を「森」や「材」として想像すること、様々な林業の形を創造することができると思えました。私も自分の林業を見つけられるように、林業で物事がどのように変化していくのかを考えながら、同じ志を持つ仲間と日々の研修に励みたいと思います。



輪尺で胸高直径を測る研修生



原木市場を見学する研修生

地域の森林の経営管理を担う 林業事業体の確保に向けて

県中農林事務所

林業普及指導員 橋本正伸

1 背景

平成31年4月に「森林経営管理法」が施行され、経営管理が適切に行われていない森林について、その経営管理を「意欲と能力のある林業経営者」や市町村に委ねる、「森林経営管理制度」がスタートしました。

林業事業体が「意欲と能力のある林業経営者」として登録されるためには、素材生産量や生産性を増加させる目標の設定や、効率的かつ安定的な林業経営を実施する、または計画することなど、県の判断基準を満たす必要があります。この登録を目指すことは林業事業体としての意識向上や成長につながり、登録により事業地確保の機会の増加が見込める、各種助成・補助制度の対象となる、といった具体的メリットへも繋がります。

2 県中管内における取組状況

県中農林事務所では、令和2年度から「意欲と能力のある林業経営者」の登録候補となりそうな事業体へ個別の訪問指導のほか、関係会議や労働安全巡回指導などの機会を通じて登録のメリットについて説明し、登録に向けた計画資料の取りまとめを支援しています。また、地域の林業事業体を育成・強化し「意欲と能力のある林業経営者」の登録事業体数を増やすことは、今後、市町村が森林経営管理制度を推進していくうえで、事業発注先の安定確保へも繋がることを、市町村担当者会議などの機会を通じて説明しています。

3 取組の結果と今後の展開

林業事業体へ対する様々な働きかけの結果、素材生産・販売などを行っている事業体・団体からの問合せや指導依頼は増えており、県中管内の「意欲と能力のある林業経営者」登録事業体数は令和元年度末時点の6件から、12件まで増加しました（令和5年6月16日現在）。また、補助制度などを活用した機械導入についての問合せ・要望も増加し、令和2年度以降、資金貸付制度を活用したクレーン付きトラックの導入要望が2件、補助事業を活用した高性能林業機械の導入要望については、令和4年度事業で1件（ロングリーチグラップル1台）、令和5年度事業で1件（ハーベスタ1台）が採択され、導入に向けて事業を実施中です。

今後も「意欲と能力のある林業経営者」の登録や、高性能林業機械の導入について指導・支援を継続し、更に林業アカデミーふくしまから輩出される新たな担い手と林業事業体とのマッチングについても積極的に関わっていく予定です。



ロングリーチグラップル（広範囲の伐倒木を集材できます）
※林野庁HPより



ハーベスタ（伐倒～枝払い～玉切りの工程が1台で行えます）
※日本キャタピラー合同会社HPより

森連だより

第72回 通常総会開催

当会は、第七二回通常総会を去る五月三〇日杉妻会館において開催いたしました。

富永盛彦副会長より開会を宣した後、田子英司代表理事会長の挨拶が行われました。

続いて、議長として村田久男郡山市森林組合代表理事組合長が選出され、全九議案が承認されました。

令和四年度は、「中期経営三カ年計画」の初年度であったことから、計画に沿って着実な実行確保を図るとともに、主要課題である「福島県森林組合連合会JForestビジョン2030基本方針」と「森林組合及び森林組合員の経営安定に向けた支援等」に役職員が一丸となって取り組んだ結果、年度末決算では、剰余金を計上することが出来ました。



令和五年度は、六年度までを期間とする「中期経営三カ年計画」の二年目となり、森林組合及び森林組合員の経営の安定のため、全面的な支援を行うとともに組織等体制整備の取組を進めてまいります。

引き続き、系統森林組合と連携し、地域の林業経営の担い手としての役割を担うとともに、人材の確保・育成や原木の安定供給に努め、会員各位に信頼され、十分に応えることのできる組織として、職員の資格取得、技術力向上など資質向上を行ってまいりますので、関係各所の皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。

令和四年度系統利用優良組合及び感謝表彰における表彰者は次のとおりです。

「表彰者名簿」

○令和四年度系統利用優良組合

- 販売部門 双葉地方森林組合
- 購買部門 相馬地方森林組合
- 森林保険部門 いわき市森林組合

○感謝表彰

- 清野 邦夫 (前福島県森林組合連合会理事)
- 松本 秀樹 (前福島県森林組合連合会代表理事専務)
- 永年勤続役員 (勤続十二年以上)
 - 故渡邊 徹 (田村森林組合)
 - 石井 義男 (ふくしま中央森林組合)
 - 吉田 孝 (ふくしま中央森林組合)
 - 佐藤 正栄 (西白河地方森林組合)
 - 故鈴木 章一 (只見町森林組合)
 - 秋元 公夫 (双葉地方森林組合)
 - 松本 寿夫 (双葉地方森林組合)
 - 山本 幸男 (双葉地方森林組合)
 - 加藤 隆一 (双葉地方森林組合)
 - 永年勤続職員 (勤続三〇年以上)
 - 滝田 悦史 (福島県北森林組合)
 - 宗像 保雄 (ふくしま中央森林組合)
 - 鈴木 深影 (いわき市森林組合)
 - 永年勤続職員 (勤続二〇年以上)
 - 五十嵐幹哉 (只見町森林組合)
 - 鈴木 幸子 (只見町森林組合)
 - 永年勤続技術班員 (勤続五年以上)
 - 齋藤 貴徳 (福島県北森林組合)
 - 鈴木 伸嘉 (福島県北森林組合)



- 兒玉 敏洋 (福島県北森林組合)
- 高倉 安夫 (ふくしま中央森林組合)
- 根本 聖士 (ふくしま中央森林組合)
- 会田 耕平 (ふくしま中央森林組合)
- 矢部 拓也 (西会津町森林組合)
- 佐藤 一信 (飯舘村森林組合)
- 高野豊治郎 (飯舘村森林組合)

木連だより

国産材魅力発信拠点 MOCTION（モクション）に出展しました

東京都では、全国各地との共存共栄の視点から国産木材の更なる利用推進のため、国産木材の魅力発信拠点 MOCTION（モクション）を運営しており、今般、企画展示エリアに県木連が出展し、福島県産材製品のPRを行いましたので紹介します。

MOCTIONとは都が各道府県と連携しながら国産木材の利活用を提案し、共存共栄のマーケット創出を目指すもので、展示は去る5月11日から5月23日までの13日間、東京都新宿区にある「新宿パークタワー リビングデザインセンター OZONE」で行いました。今回の展示は、「木に親しむ生活とお子さんの心の健やかな発育をお手伝いする木製品」をテーマに組合員の協力の下、次の製品を展示しました。

- 福島県産広葉樹の家具・木製品／福島県郡山地区木材木工工業団地協同組合（郡山市）
[展示品] 木製テーブル・イス、木製パーティション、木製収納ボックス
- 高度な木工技術とデザイン力を生かした福島県産木材製品の開発／ディ・シー・ツー有限責任事業組合（伊達市）
[展示品] 木製遊具 くねくね橋、アクティブキッズコロQ、寄木コースター
- 多岐にわたる木製品の提供／株式会社共栄（会津若松市）
[展示品] 木製玩具 プレミアム積木、木製機関車キット
- 木材の持つ利点を発揮できる遊具の提案／福島県木材協同組合連合会
[展示品] 木製遊具 マルプロ、カタカタボード、ぐるり

展示期間中は300余名の方が来場され、特にご家族連れのお客様が多く、熱心に展示品に見入ったり遊具に触れたりしていました。主な感想として、「針葉樹と広葉樹の両方の製品に触れられて良かった。」という声がありました。また、ケヤキのテーブル・イスのセットやイチョウの収納ボックスに興味を持たれる方も多く、「木製遊具は触り心地も見た目も優しく大人でも楽しめそう。」「木の質感と香りがとても良い。」などの感想が寄せられました。

県木連では、今後もこのような機会を通じて県内外に本県産材製品の普及PRに努めてまいります。



展示全景



木製遊具・玩具



ケヤキのテーブル・イス

木の文化を育む⁵²

地域社会でともに生きる〜里山を活かした「コミュニティ」

(NPO法人ミットレーベン)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

「人生一〇〇年時代」と言われるようになった今日、これまでの生き方や働き方を見直す必要性が問われています。誰もが役割を感じられる居場所や多様な働き方を見出すこと、また働く経験を通して、支えられる側から地域の支え手となり、各々が自分らしく活躍できる地域力を高めるようなコミュニティの形成も求められています。里山を活かしたコミュニティは、共に働き、生きる術と生きがいを創造します。

○ミットレーベン

Mitlebenは独語で「ともに生きる」を意味しています。「地域社会とともに生き ともにはたらき ともに生きがい創造を。」をスローガンに掲げ、NPO法人ミットレーベン(田村郡・三春町)では、就職を希望する障がいのある人が利用できる障がい福祉サービスを提供しています。代表の大内聖司さんは、一般就

労できる可能性のある障がい者が、十分な工賃収入を得られていないこと、また地域社会で一人の人間として働く喜びやライフスタイルを築けていない現状に、憤りと虚無感を感じて活路を模索し、二〇一二年四月に特定非営利活動法人ミットレーベンの法人認証を得ました。以降、障がい者の「雇用就労」に特化したサービス事業を本格化し、今日に至ります。

○ふるさとの学び舎を活かす

同法人の活動拠点は要田地区の旧要田中学校です。大内さんは、二〇二〇年七月、廃校になった母校の旧要田中学校を三春町より借り受けし、事業拠点を郡山市から三春町へ移転しました。大学卒業後、医療系営業職として医療経営のトータルサポートに従事していた経験を活かして「ふるさとの学び舎で働くー学ぶー」をコンセプトに、旧要田中学校を交流施設とする多世代共生コミュニ

ティとソーシャルワークセンターの構想を提案し、活動しています。社会に出て役立ちたいと願う一人ひとりが、生きる希望と働く喜びを生み出せるよう、そして就労支援を通して地域社会に貢献できるよう、さまざまな支援を推進しています。

○三春農場「愛(めぐ)にんにく」

新たな事業拠点の三春農場「要田ソーシャルワークセンターアグリット」と連携し、再スタートした大内さんは、引きこもりや障がいのある人の就労に対する自信を育み、利用者が自らの可能性を信じて地域社会で役立つきっかけをつくるため、事業の一環として三春の休耕地を再耕し、「愛(めぐ)にんにく」の栽培をしています。三春の里山で栽培したにんにくをさらに水耕栽培した「愛(めぐ)にんにく」は、豊富なミネラルやGABAを含有し、根も

芽もまるごと食べられる発芽にんにくです。ふるさと納税のお礼品としても好評を得ています。「にんにく栽培、野菜栽培等、地元の農家の皆様のご指導やご支援のおかげで愛(めぐ)にんにくは長期にわたるスプラウト化栽培が可能になりました」と大内さん。就労支援を通して、得られたものを地域に還元できる仕組みの構築を目指し、コミュニティとともに支え合いながら、里山での活動を推進していきます。

○まとめ

里山づくりの活動を積極的に行っている大内さんは「三春花の丘公園」の整備や植樹活動など、他のNPOと連携を図り、多様な年齢層や職業の人々とともに公園整備や利活用のアイデアを広げています。年間を通じた観光等、里山を活かした町づくりに繋がることを期待されます。



三春農場で収穫した「愛にんにく」(上)商品化した「愛にんにくチップ」「愛ガーリックオイル」(下)



皆で農作業 三春町南成田にて

県森連いわき共販における木材市況（6月分）

令和5年7月1日
福島県森林組合連合会

(単位：㎡当り千円)

素 材						素 材					
樹 種	長 級 (m)	径級 (cm)	高 値	低 値	摘 要	樹 種	長 級 (m)	径級 (cm)	高 値	低 値	摘 要
スギ	4.00	9下	12.0	11.5		カラマツ	4.00	12下			
		10~13	14.0	13.5				13~14	10.0	9.5	
		24上	9.0	8.5				16上	12.5	12.0	
	3.65	16上				クリ	4.00	16上			
		24上	9.2	8.5			3.00	16上			
	3.00	9下	12.0	11.0		モミ	4.00	20上			
		10~13	11.5	11.3							
		14~16	9.8	8.8							
		18~20	10.0	9.3							
	22上	9.2	8.8								
	6.00	16~20									
	2.00	16上	8.0	5.5							
ヒノキ	4.00	10~13				市況概要と市況展望 入荷量はまずまずです。販売量は3,455㎡（前年同月比149%）でした。 市況は、先月同様、市毎に値下がりしています。元落ちは先月より減っていますが、依然として多く、特に中目材30cm上の材は元落ちが多いです。スギ3.00m、4.00m小径材は引き合いあり動きが活発ですので、出荷の程よろしくお願い致します。虫害が発生しておりますので十分に考慮の上、出荷お願い致します。					
		14~16	16.0	15.3							
		18~20	16.8	15.6							
		22上	14.8	14.0							
	3.00	16~20	11.5	11.3		7月の共販日 7日(金) 18日(火) 27日(木)					
4.80	18~22										
アカマツ	4.00	18~22	8.5	8.0		行事とお知らせ 県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。 福島県森林組合連合会 木材市況 検索					
		24上	8.5	8.0							
	3.00	16~22	7.5	7.0							
		24上	7.5	7.0							

会津若松市にある会津大学短期大 学部のエントランスホールには、モダンで温かみのある休憩スペースが広がっています。

令和四年度に、学生の卒業研究として考案・製作されたこの場所は、床やカウンターテーブルに、東京五輪・パラリンピックの選手村で使用された県産材が約二〇〇本使用され、洗練された家具と合わせることで、雰囲気を一新しました。

改修以前は、オフィステーブルに寒色系の椅子が並び、どこか冷たく暗い印象だったそうです。

当時学生だった佐藤黎志さん（産業情報学科デザイン情報コース）は、木材を活用すればエントランスホールの雰囲気を明るくできるのではないかとこの想いから、ゼミを担当する柴崎恭秀教授らと共に、卒業研究として県産材（レガシー材）を活用したエントランスホールの改修を行いました。材の加工から運搬、施工に至るまで全ての作業を学生たちでこなし、時には、大学職員の手も借



五輪レガシー材の新たなスタート 会津大学短期大学部編

会津農林事務所 澁谷恵子

りながら作業を進めたそうです。

指導にあたった柴崎教授は、「県産材（レガシー材）の譲渡は、学生たちの教育にとっても良い機会だった。また、改修に関わった全ての方々にとっても良い思い出になった。」と話してくださいました。

エントランスホールは、令和五年一月中旬に完成し、学生たちの楽しい声や響き、憩いの場となっています。中庭に面したカウンターテーブル席には、一人の時間をゆったりと過ごす学生の姿がみられます。当県が譲渡したレガシー材は、東京五輪・パラリンピックの記憶を宿しつつ、同大学で生まれ変わり、学生たちに寄り添いながらまた新たな記憶を刻み始めました。



はなしの
ひろば

五・七・五・七・七

今や、SNSを中心に若者の間で現代短歌ブームらしい。短歌は三十一文字、俳句は十七文字で、なぜ奇数なのだろうか、と不思議に思う。奇数は、陰陽思想で陽数であるからなのか、日本人は「奇数」を好むといわれる。法事も奇数の回忌におこない、子供の成長を願う七五三も然り。また、虹は七色と思っていたが、アメリカやヨーロッパでは、六色を用いることが多いと「日本語と外国語」(鈴木孝夫著)に記されている。「七色の虹」は、どうも世界共通ではないらしい。おそらく、この奇数文化は、日本人の暮らしのあらゆる場面で馴染みが深いのだろう。奇数は、割り切れないので、壊すことのできない完全さがある。さらに、三三七拍子や手締め(一本、三本)には、これで終わりではないよ、という明日へのエールを、暗黙のうちに皆が認識しているのだろう。

では、なぜ「五と七」が歌に採用されたのか。「雪月花の数学」(桜井進著)では、それは「日本人は、五と七の組み合わせが持つ表現の絶妙さを直感的にすくひ取った」から、らしい。

最近、隣に一番いてほしい人を昨年うしなの夏に喪った知人から手紙が届いた。偶然にも短歌十一首が添えられていた。

夢の中出会えたまきは家において 驚く我に「わたし生きてる」

短歌は、読み手の心情を言葉にして数にのせていく。指を折りながら数えていく言葉の数珠じずは、それぞれの心の髣髴様なのかも知れない。七月のセミの声に何かを感じたら、指を折って言葉の数珠を編んでみてはいかがだろうか。(都)

表紙の写真



「御柱祭!!」

第19回ふくしま森林・林業写真コンクール 特別賞(一般の部)
県林業会館理事長賞
受賞者 熊田行雄さん(鏡石町)
撮影場所: 桑折町
コメント: 6年に一度の大祭

編集

発行人

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
(福島市中町五番一八号県林業会館内)
飯沼隆
陽光社印刷株式会社
(定価 一〇〇円)

お知らせコーナー

第20回ふくしま森林・林業写真コンクール 作品募集

森林の大切さとそれを支える林業の重要性を県内外に広く発信するため、森林・木材との関わりや森林整備作業などをテーマにした作品を募集しています。

1 テーマ

下刈・間伐・皆伐再造林などの森林での作業、木材の利用、特用林産物(炭焼き、きのこ栽培、漆等)、里山風景、森林レクリエーションなど福島県内の森林・林業に関するもの。

2 応募資格

アマチュアで、作品は福島県内で撮影した自作の未発表の作品
なお、特別賞として高校生以下の部を設けています。

3 作品サイズ

カラープリント、四ツ切・ワイド四ツ切(デジタル可)

4 応募締切

令和5年9月20日(水)(当日消印有効)

5 お問い合わせ先

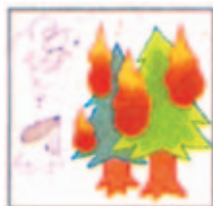
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
企画管理室 (TEL 024-573-0235)
作品応募の申込書は、当協会のホームページ (<https://www.fukurin-net.jp/>) より、ダウンロードできます。



第19回最優秀賞(県知事賞)「年輪を切る」

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



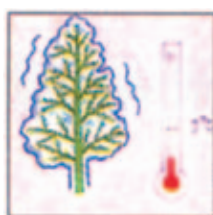
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)
または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ
グラップルプロセッサ

GP-35B

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッタ解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest

イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(仙台支店) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央1丁目16-6
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699
(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1
(支店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



SR3100



破碎径：200mm 出力：18.4kW

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ 林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1